

日本身体障害者団体連合会
第39回 近畿ブロック福祉大会および
第21回 近畿ブロック身体障害者相談員研修会 開催される

昨年11月18日(月)に国際障害者交流センター ビッグ・アイ(大阪府堺市)で、当団体が主管となり開催しました。

当団は524名が近畿各地から集まり、大阪市からは128名の会員があゆみ号と観光バスを利用し参加しました。

福祉大会の第一部では、近畿ブロック連絡協議会会長兼主管団体長手嶋会長のあいさつからはじまり、大阪市長代理でご臨席いただいた副市長中尾巻志様、大阪市会議長広田和美様、日本身体障害者団体連合会阿部会長の代理でご臨席いただいた副会長土岐達志様より来賓祝辞をいただきました。

第二部では、議長団を選出し、奈良県身体障害者福祉協会連合会辻事務局長より前年度決議事項処理報告のあと、大会宣言と大会決議について採択を行いました。

午後からの相談員研修会では、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付参事官(障害者施策担当)衣笠秀一氏をお招きし、「障害者差別解消法について」と題し、2016年施行後の実施状況、また施行3年たった見直しに向けて、障害者政策委員会においてすすめられている検討状況について、最新の情報をお話ししていただきました。

令和2年度は和歌山県身体障害者連盟が主管となり開催されます。是非とも皆様ご参加いただきますようお願いします。



障がい者の自立と社会参加の促進を図る「障がい者週間」終る!

障害者基本法では12月3日から9日までの1週間を「障がい者週間」と定め、障がい者自らの自立と社会参加への意欲を高め、障がい者に関する市民の理解や認識をより一層深めるための運動を展開していく期間とされており、本会も大阪市に協力し、市内巡回広報・宣伝活動を行いました。

12月3日(火)10時から、街頭キャラバンの出発式が市身協役員、会員や市民など多くの人が見守る中、大阪市役所玄関ロビーで行われました。出発式ではキャラバンを代表して市身協の手嶋会長のあいさつがあり、鍵田副市長からは、激励のあいさつがありました。

12月5日(木)は市内巡回広報・宣伝活動に出発しました。街頭キャラバンとして手嶋会長を筆頭に各部会代表、市社協事務局長等で城東区・東淀川区・港区・西成区・浪速区を訪問いたしました。各区で温かい歓迎を受け、市民に障がい者の福祉に対する関心と理解を訴えてきました。

12月6日(金)午前中は大阪市長あての要望書の提出を大阪市役所6階福祉局障がい者施策部会議室で行いました。キャラバンを代表して、市身協の手嶋会長からあいさつがあり、大阪市に対して、障がい者の社会参加をより一層推進するよう訴えた12項目

告知

1月号紙面で報告する予定であった昨年10月の第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」につきましては、台風19号の接近に伴う影響を考慮し、全日程「中止」となりました。

大阪府共同募金会様ありがとうございます

この機関紙は、大阪府共同募金会配分金等により発行されています。

今回130号を皆さんにお届けできましたことを、厚く御礼申し上げます。

今後も皆さんに喜ばれる紙面づくりに努力する次第です。

貴会のご助成本当にありがとうございます。



編集後記

皆さん明けましておめでとうございます。昨年中は色々とお世話になりました。
 「2019年ユーキャン新語・流行語大賞」で選ばれたトップ10をみると、ラグビー日本代表を率いるコーチが掲げたテーマ「ONE TEAM」。台風に相次いでみまわれたことから、気象庁が避難行動を迅速に取るように呼びかけ、鉄道各社が実施した「計画運休」。消費税引き上げに伴う経過措置の「軽減税率」。どこに行っても「〇〇ペイ」でスマートフォンの使いこなしにチャレンジした方も多いのではないでしょうか。

令和2年は明るい一年になりますことを願っています。(高木)

大会宣言

日本身体障害者団体連合会近畿ブロック連絡協議会は、結成以来、近畿2府4県4政令指定都市の障害者の多くの切なる要望や願いを真摯に受け止め、様々な活動を行いながら、その実現に向けて昭和・平成の時代を全力で走り続けてきました。

今、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、障害者に対する関心が高まる中、障害者にかかる国連の権利条約への批准や国内法の整備がなされても、依然として障害者への差別が根強く残る現状とその反省を踏まえ、また5月からの令和の改元を受け、これまでの歴史に新たな事績を残すべく、今まで以上に障害当事者の立場からより積極的に活動を展開していくことが求められています。

このことから、重要指針であるユニバーサルデザインの街づくりと心のバリアフリーを柱として立案された「2020行動計画」をもとに、この令和の時代に、そしてわれわれの世代で、誰もが暮らしやすい共生社会を実現するのだという強い意志を持って、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」の障害者権利条約の精神で、あらゆる局面に主体的に参画して関連施策の完全実施を目指すことが、私どもの役割であると一人ひとりが自覚し、この大会を契機に一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

令和元年11月18日

第39回日本身体障害者団体連合会
近畿ブロック福祉大会



おおさか
OSAKA CITY

E-mail:FJP47254@nifty.com *この機関紙は、大阪府共同募金会配分金等により発行されています。

市身協

No.130

2020年1月1日発行

■発行所：(一財)大阪市身体障害者団体協議会 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 TEL 06-6765-5636 FAX 06-6765-7407 ■発行責任者：手嶋 勇一



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪市身体障害者団体協議会の会員とご家族の皆様

方には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

貴協議会におかれましては、昭和33年の設立以降、60年以上の長きにわたり、身体に障がいのある方の福祉の増進のため、社会参加の機会の確保や障がいに関する啓発など、じつに様々な活動に取り組まれているとともに、本市における障がい者施策の推進に大きな役割をはたしていただいております。手嶋会長をはじめ、役員、会員の皆様方に、厚くお礼申しあげますとともに、平素からの継続的な活動に、深く敬意を表する次第であります。

さて、いよいよ本年8月に東京2020パラリンピック競技大会が開催されます。世界各国の障がいのあるアスリートの方々が最高のパフォーマンスを発揮するこの大会は、障がいや障がいのある方への正しい理解が深まり、障がいのある方の自立と社会参加の促進に向けた環境づくりが、より一層進む絶好の機会です。

大阪市におきましても、皆様方からの貴重なご意見をもとに策定しました「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」に基づき、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、様々な施策に取り組んでいるところでございますので、皆様方の引き続きのご協力を賜りますようお願い申しあげます。

年頭にあたり、本年が皆様方にとって実りある一年となりますよう、また、一般財団法人大阪市身体障害者団体協議会の益々のご発展と、会員並びにご家族の皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげまして新年のごあいさつとします。

令和2年 元旦
大阪市長 松井 一郎



新年のごあいさつ

令和と元号が改まって初めての年始となります、皆様には健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申しあげます。

さて、現在「障害者差別禁止法」の改正に向けての検討が、今通常国会への提出を目指して内閣府が設置した「障害者政策委員会」でなされております。私どもいたしましては、今は努力義務となっております民間事業者の合理的配慮の義務化などの課題を重視しつつ、当事者団体として地域の思いを国に伝えていくとともに、その動向を注意深く見守ってまいりたいと思っております。

また、今年8月には2020東京パラリンピックがいよいよ開催されます。スポーツには、障がいの有無は勿論、国籍や人種、宗派を超えて、人々の心を一つにする力があります。障がいに対する社会の関心が一層高まることが期待される中、最近の時代の潮流を見極めながら、障がい当事者である私たち自身が、障がい理解の発信者として地域社会の中でしっかりと啓発に取り組んでいかなければならないと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

一方、2025年1月1日を以て、現在の政令指定都市である大阪市を廃止して、4つの特別区を設置するための協定書の作成が、大都市制度(特別区設置)協議会において進められており、その中で今年の11月上旬に、その賛否を問う住民投票を実施することも協議されています。これが実現いたしますと、私どもが加盟し、地域のそれぞれの障がい者の思いを国などに要望する窓口である社会福祉法人日本身体障害者団体連合会が、その定款で加入団体の資格を全国的に組織された障害別中央団体、並びに都道府県または政令指定都市において組織された身体障害者総合団体としていることから、本会は加入資格と直接の要望などの手段を失うこととなります。こうしたことを踏まえて、大阪市が廃止された場合の本会、ならびに各部会、および24区支部をどのようにしていくかの検討もいかなければなりませんので、出来るだけ多くの皆様のお声をお聞かせいただきたいと思っております。

このように、今年は本会にとって例年に増して多事多端な年になると思われますが、どうかこれまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たりまして、本年が皆様方にとって良い年でありますようにご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和2年 元旦
一般財団法人大阪市身体障害者団体協議会
会長 手嶋 勇一



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては謹んで新年のお慶びを申しあげます。平素は大阪市聴言障害者協会に、皆様の多大なご協力を賜りまして、心から深く感謝を申し上げます。

昨年11月30日(土)午前11時～午後2時、来賓、歴代会長や関係者にご臨席頂き、旧役員や現役員、会員、手話関係者あわせて140名の出席のもと、大阪市聴言障害者協会創立60周年記念大会をホテルグランヴィア大阪「鳳凰」にて開催しました。

歴代会長や旧役員、現役員のご労苦と頑張りのおかげで、60周年という歴史を刻んでこられたことに対して深く敬意を表します。

以前から聴覚障がい者は意思を上手く伝えにくく、一人の国民、府民、市民として権利を奪われてきた社会的な背景がありました。障害者差別解消法の見直し等、一定の改善がなされておりますが、聴覚障がい者の強制不妊手術や障害福祉サービス65歳問題、介護保険2割案などの新たな問題もあり、現在いろいろな議論がなされたところでございます。

また、大阪市こころを結ぶ手話言語条例が施行して4年目ですが、手話に関する施策はいまのところ、夜間・休日手話通訳派遣と出前講座(大阪市内の医療機関)の2件であり、この他にも、課題がまだまだ山積しております。

「大阪都構想」案では、2020年秋冬頃に住民投票を実施し今24区を廃止して特別区4区を設置するという案が出されていますが、障がい者団体にとって福祉活動がこれまでよりやりにくくなったり、一般の障がい者は役所などへ行くのが負担になったりするのではと案じております。

現在大阪市全体の障がい者施策で手話が言語として一般的に認知されるまでには、大阪市の聴覚障がい者施策でこれからも本当に安心して暮らしていくのかを考えるとともに、現状の施策をこれ以上低下させないように注視していかなければなりません。60周年の締めを機に、大阪市の聴覚障がい者施策をより一層充実させるように、大阪市聴言障害者協会役員一同でさらに邁進して参りますので、どうかよろしくお願いします。

皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和2年 元旦

大阪市聴言障害者協会
会長 廣田 しづえ

祝 大阪市聴言障害者協会 創立60周年記念大会

11月30日(土)、ホテルグランヴィア大阪「鳳凰の間」において、大阪市聴言障害者協会創立60周年記念大会を開催いたしました。協会会員、手話関係者が約140名集い、出席者の中になつかしいお顔を拝見することができました。

式典の前に、プロの写真屋による出席者全員の集合写真を撮影し、第1部の式典へうつりました。廣田会長の挨拶の後、(一財)大阪市身体障害者団体協議会手嶋会長、(公社)大阪聴力障害者協会大竹会長、大阪市教育委員会委託事業講師坂井先生よりご祝辞を頂戴しました。

第2部のパーティーは、元会長栖川興道さんの乾杯でスタートし、アトラクションのあと、思い出話のスピーチの時間は、栖川さん・中岡正人さん・西滝憲彦さんが熱弁をふるい、時間を忘れるほどでした。

福引きでは、商品に、温泉旅行券、高級食品などがあり、商品内容を知って、参加者から「私にちょうどいい!」の声が飛び交い、大変盛り上がりしました。手嶋会長をはじめ、歴代会長や廣田会長がそれぞれのくじを引き、当たった人に景品を渡すと、会場に笑顔がいっぱいあふれました。

最後に竹本事務局長が中心になり、「大阪市はひとつ」との声かけで、1本締めをして閉会しました。

これからもまだ見えない課題がたくさんありますが、この記念大会を機に「大阪市はひとつ」という気持ちで、大阪市聴言障害者協会役員一同で今まで以上に力を発揮してまいります。参加者・関係者の皆様、ありがとうございました。



▲廣田会長の挨拶で60周年記念大会が始まりました。



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

大阪市視覚障害者福祉協会は、一般社団法人として役員一同、生活・福祉・文化の向上を目指した事業の遂行に努めてまいります。

本年開催の東京2020パラリンピックは、8月25日の開会式から9月6日の閉幕までの12日間、各競技で熱戦が繰り広げられます。それぞれの障がいを受け止め、日々努力しておられる選手たちに大きなエールを送り続けましょう。

ところで、昨年も全国各地で豪雨、台風等による自然災害が頻発し、各地で甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。今後も、東南海・南海地震や上町断層帯地震による直下型地震や自然災害の発生が予想されるため、各自が防災や減災への意識を持つとともに、他団体や大阪市とも連携しながら供えや対策の取り組みを進めていく必要があると考えております。

とりわけ、大阪メトロからの発表では、今年度中に谷町線『東梅田』駅、堺筋線『堺筋本町』駅に可動式ホーム柵が設置されます。また、2025年度中までに全133駅に可動式ホーム柵が設置されることは朗報であります。私たち視覚障がい者が安心・安全に外出できるよう、鉄道会社に対し、可動式ホーム柵の全駅設置、駅員の適切な配置や声かけを要望するとともに、交通量の多い交差点においては、音響信号機の設置や点字ブロックの敷設などを関係各方面に引き続き要望してまいります。

この一年が障がい者福祉の前進と発展に実り多き年となるよう、手嶋会長の下、一致団結して諸課題に取り組んでまいります。どうか、皆様の温かいご理解とご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



一般社団法人
大阪市肢体障害者協会

第43回 文化祭

昨日11月3日(日)、大阪市長居障がい者スポーツセンターで恒例の文化祭を開催しました。

多数のご来賓を迎え、テープカットではじまった文化祭は150名の参加者で楽しんでいただきました。

今回は1階体育室で全ブース同じ場所で行いました。身光会写真展示コーナー、女性部手芸品販売コーナー、まる~い手芸小物販売コーナー、舞台では三線(さんしん)演奏、カラオケ大会で大いに盛り上がりいました。



ちょっとカフェコーナーでは、ふれあい喫茶「愛」の皆さんとのコーヒーとケーキセットで、各テーブルは会話が弾んでいました。また、餅つきが行われ、お餅を配付しお腹も満足していただけた様子でした。

今年も11月の第1曜日を予定しています。お楽しみに!

これからの行事ご案内 一般社団法人 大阪市肢体障害者協会

パソコン・スマホ・タブレット勉強会

「興味はあるけど使い方が…」「持っているが、どう使ったらいいかわからない」という声をよく聞きます。当勉強会ではその方の生活や趣味にあった便利な使い方を学びます。

日 時:2020年2月8日(土)午前10時00分～

場 所:大阪市立社会福祉センター209号室

参 加 費:500円

申込締切:2020年1月末日

申 込 先:下記協会事務局まで



補装具装着・指導者一泊研修会

日 時:2020年2月21日(金)～22日(土)

場 所:かんぽの宿 奈良

申込締切:2020年1月31日(金)

体育祭(順延となりました体育祭を下記日程で開催します。)

日 時:2020年2月23日(日) 13:00～

場 所:長居障がい者スポーツセンター 体育室

第41回ボウリング大会

日 時:2020年3月1日(日)午前10時00分～

場 所:弁天町グランドボウル

参 加 費:1,000円(貸靴料含む)

申込締切:2月21日(金)先着100名

申 込 先:各区肢体障害者協会 会長



一般社団法人大阪市肢体障害者協会

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号
(大阪市立社会福祉センター内)

TEL06-6191-5959 FAX06-6210-2610
E-mail sisikyo-osaka@herb.ocn.ne.jp

2020年 新年のつどい

肢体障害者協会は、もちつき隊とパソコン占いで応援参加しますので、皆様もぜひ遊びに来てください。

*1月12日(日)10時～ 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター